学生×企業　協創プロジェクト

沖縄の海を守るために～私たちができること～

D　南風原高校



1．なぜこの企業テーマを選んだのか

杜の賑わいで出演したことがあり、縁があると思ったから。



2. プロジェクト概要（背景・課題・ゴール）

- 海の汚染の原因となる赤土の流出を減らすため、
  農家さんにベチバーを植えてもらう。
- しかし、ベチバーを植えている状態を維持するには
  多大な労力を要するため農家さんの負担になってしまう。
- 商品の実現（利益出す）

３．既存の取り組みについて

①第１回MTGで分かったこと

・赤土の種類→国頭マージ(最も赤い)、島尻マージ、
ジャーガル(灰色)

・海に流れ込んで、海の生態系を崩す。

・対策としてベチバーを植えることを推奨している。

・農家さんは刈り取りなどの作業が増えるため、植えたがらない。

②第２回MTGで分かったこと

・精油を絞った後の搾りかすをボタニカルプレートにしている。

・葉だけじゃなくて根も活用できる。

４．課題

＊このプロジェクト全体を通して見えてきた課題

・海の環境問題

・農家さんたちのベチバー植えない問題

・ベチバー成長したあとの処理問題



＊私たちが特に解決したい課題

・農家さんのベチバーの植栽

５．提案

＊提案タイトル

ボタニカルプレートをさらに実用的にしよう！

＊概要内容

・ボタニカルプレートの耐水性を上げることで、さらに幅広いものに活用できる。

＊課題と目的

・ボタニカルプレートをどのように大量生産するか？

・

＊具体的な内容

・ボタニカルプレートにレジンやプラスチックなどでコーティングをして、キーホルダーやコースターに応用する。

＊協力してほしい人・団体（あれば記載）

・お土産屋さんや雑貨屋さん

６．私たちが考える「未来の沖縄の姿」

○自分たちの意見

- さらに通信技術が発達して、観光業が盛んになる一方で、赤土問題などの環境問題がまだまだ残っている可能性がある。
- 県外や外国からの移住者が増えるかもしれない。
- 地球温暖化による異常気象への災害対策強化。

○AI（チャットGPT）

- 都会化した沖縄ではなく、「沖縄らしさを残したまま、技術と産業がかなり進んだ島
- AIによる交通制御
- 自動運転バス
- キャッシュレス化
- スマートフォン・ARを利用した観光案内
- 災害時にも機能する分散型電力システム　　etc…